

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0772100624		
法人名	株式会社アフロサービス		
事業所名	グループホームみずいろの郷		
所在地	福島県本宮市字館町122-1		
自己評価作成日	令和7年3月17日	評価結果市町村受理日	令和7年5月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近くには公園などがあり、利便性が良い。代表者が作る米や野菜を使い、食事を提供している。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/07/index.php>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人福島県福祉サービス振興会		
所在地	〒960-8253 福島県福島市泉字堀ノ内15番地の3		
訪問調査日	令和7年4月30日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

1. 利用者に寄り添い、じっくりと思いを傾聴する機会を大切にしている。10時と15時のお茶の時間は、職員も利用者の傍らに座り、昔行った旅行の話などから利用者の新たな側面を発見し、職員で共有している。チラシを見ながら食べたい料理を伺うなど、日々の支援や行事などに反映させている。  
 2. 食事は、利用者の好みや季節を考慮した献立により職員が手づくり調理している。食材は近隣商店で購入し、また本社が耕作している野菜や米などを活用している。テイクアウトや夏祭りではタコ焼・焼ソバなどを、曆に応じて海鮮ちらし寿司、クリスマスケーキ、お正月料理などを準備して、楽しい食環境を提供している。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が理念共有ができるように努めている。	理念は開設当初に策定され、現在もケア提供の骨子として活用している。事務所及びホール2か所に掲示するとともに月次ミーティングでも理念をもとに実践の振り返りや改善に努めている。家族には入居時に説明して共有を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの影響により交流を控えている。	町内会に加入し、市広報などで地元の情報に接している。コロナ禍以降、地域と交流する機会が減っており、事業所としても課題と認識している。町内会総会には本社の職員が出席している。	コロナ禍以降、地域交流の機会が激減している。感染状況を考慮しながらボランティアの受け入れや地域との交流再開を期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症連絡協議会に参加している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている	施設内の利用状況や入居者様の生活状況を報告している。	本社を会場に対面で開催している。入居状況や行事内容などに加えて、委員からの提案により利用者それぞれの健康状態や近況なども一覽にまとめて報告している。地域ニーズの話題やケア内容への質疑応答など、双方向的な会議運営が行われている。	利用者の生活や職員の業務内容を理解して頂くうえでも事業所での開催、あるいは見学の機会なども検討してほしい。また、利用者・家族の出席が皆無であり、改善が求められる。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	認知症連絡協議会に参加し情報を交換したりしている。	担当課とはメールや電話でのやり取りが主となっている。事故報告は窓口を持参提出して口頭で説明を加えている。生活保護受給者や虐待ケースの措置入所受け入れなど、市と連携して困難事例へも積極的に対応している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないように取り組んでいくように話合い共有できるようにしている。	「身体拘束廃止に関する指針」を策定し、委員会を3か月ごと研修会を年2回実施している。「身体拘束自己チェック表」を年1回全職員が行い、本部で集計のうえ、月次ミーティングで共有し、改善に努めている。グレーゾーンと思われるケアについては逐次申し送りで検討している。	指針が平成30年4月1日以降改訂されていない。厚労省の運営基準等に基づき、適正な指針策定が求められる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	福-1	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士で注意し防止に努めている。	「高齢者虐待防止のための指針」に基づき、委員会及び研修会をそれぞれ2回ずつ実施している。「高齢者虐待防止自己チェックリスト」を年1回全職員が行い、本部で集計し、業務改善に活かしている。不適切な声かけ等には、職員間で注意する態勢が整っている。	高齢者虐待防止法に準拠し、指針の文言の修正（「報告」と「通報」の使い分け）並びに「虐待発生時の対応の流れ」を再作成し、職員へ周知することが望まれる。
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な利用者には支援できるようにしていきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時丁寧な説明を心掛けているご家族様の不安点などいつでも連絡して頂き説明を行うようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話対応した際に利用者様の近況を報告したりしている。	面会時や受診対応時に家族から要望を伺うことが多い。以前、裁縫を生業にしており、入居後も続けたいとの家族・利用者の希望のもと、裾上げやボタン付けなどを積極的に手伝ってくれた事例もある。意見を伺い、まずはやってみようという姿勢と行動を大切にしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りや全体ミーティングの際に職員からの意見聞き情報の共有化に努めている。	管理者は日々の業務の中で職員とのコミュニケーションを深め、業務に反映させている。必要に応じて本社による個別面談の機会も設定している。月次ミーティングには専務も出席しており、意見が本社に伝わる仕組みができています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	全体ミーティングを開催職員からの意見を聞き情報の共有化に努めている。		
13	福-2	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員へそれぞれに有った研修会に参加するように心掛けている	認知症ケアやプライバシー保護など、毎月テーマ別の内部研修会を実施している。外部研修は管理者が主に出席している。月次ミーティングでの業務改善に向けた検討やケース会議でのケア内容の確認なども学びの機会として機能している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症連絡協議会に参加し情報を交換したりしている。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が安心できる関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安や要望を聞くように心掛けている本人やご家族様とよく話し合うように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族から話を聞くようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様が出来ることをお願いしたり好きなことができるようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月利用者様の写真を送り状況を報告している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様と病院受診したり馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援に努めている	家族との外出や法事への列席、賀寿のお祝いなど、家族等との関係が途切れないよう支援している。病院受診の際は、知人と再会できる場としても大切にしている。電話は子機を渡して居室でゆっくりと話して頂けるように配慮している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないように職員が利用者様同士の仲介をし利用者同士が係わり会えるような支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了時にはご家族様へ相談などに対応することを伝えている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限り希望に沿った支援が出来るように努めている	10時と15時のお茶の時間は、職員も利用者の傍らに座り、話を伺う大切な機会としている。チラシを見ながら、旅行の話や食べたいものなどを伺い、行事に反映させている。帰宅願望がある場合などは抑止せず、行動を共にするなど、利用者の思いに寄り添ったケアを実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居申し込みされた際にご家族様や担当したケアマネから生活歴など情報を得るようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活や状態行動などスタッフ間で情報の共有化に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族様とよく話し合い意見を取り入れるようにしている。	実態調査の情報、利用者・家族の希望を踏まえて、入居時に6か月のケアプランを策定している。月次ミーティングにて職員間で現状の確認を行い、計画作成担当者がモニタリングをまとめている。短期6か月・長期12か月の目標を基本とし、変化がある都度見直しを行っている。	ケアプランに基づくケア提供状況が確認できなかった。より適正なモニタリングを行ううえでも、プランの実践状況をケース記録に明記することが求められる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子などスタッフが気づいたことを記入し申し送り時にも口頭で伝え情報を共有している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族様の要望など希望に沿ってサービスが出来るように心掛けている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議のメンバーに民生委員や老人会の方に参加をお願いしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様へお願いしてかかりつけ医に受診して頂いている	契約時にかかりつけ医を継続受診していただくよう説明し全員が継続している。通院は家族対応を基本としているが、家族の都合や症状説明が難しい利用者は事業所で同行している。受診前と結果は家族に電話で報告し、特に変化がなければ毎月のお便りで報告している。職員は記録・申し送り共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内に看護師は在籍しないためなにかあれば同法人内の看護師へ相談している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者とご本人様について情報交換や相談をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況に変化があれば随時ご家族様に相談し話し合うようにしている。	入居時に、事業所で重度化した際の対応及び看取りを実施することが困難であることを口頭で説明している。重度化や看取りケアを必要と医師の診断があった場合は、医師の紹介による医療機関で対応している。事業所の重度化・看取り指針は作成されておらず口頭での方針説明となっている。	事業所の対応力の現状を踏まえた「重度化・看取りに関する指針等」を作成し、事業所で対応可能なサービスを書面で説明しながら方針を共有し、同意を得る取り組みが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練を行い全職員が適切な対応が出来るようにしていきたい		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難経路避難場所は決まっているが定期的な訓練を行い近隣の方々の協力をお願いしたい	消防署に届出し、火災想定(昼間)の避難訓練を1回実施し、業務継続計画(BOP)による地震・水害等の机上学習を実施している。地震・風水害及び夜間を想定した避難訓練は実施されていない。備蓄品は台風による水害を被ったことから、本社で水・食料・寝具・簡易トイレ・おむつ・衛生用品等を準備しているとの説明があった。	消防署の改善勧告の履行と、火災・風水害・地震等あらゆる災害を想定した避難訓練を実施することが望まれる。特に夜間を想定した訓練を数多く実施し、職員が利用者を避難誘導できるよう経験を積んでほしい。また、水害被害を被った経験を活かした対応マニュアル等の作成も期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重しプライバシー差恥心に配慮した声かけ対応に心掛けている	認知症ケアやプライバシー保護、倫理・法令遵守等の研修を行い、プライバシーや羞恥心・自尊心を損ねない声掛けや対応を意識したケアを実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定ができるように利用者様の状態に応じて分かりやすい言葉での声かけに工夫したりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの生活リズムに配慮し利用者様の希望に沿って支援するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に散髪したり身だしなみやおしゃれが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている	近くの利用者様と会話しながら一緒に頂くことで好みを把握することができている。	献立は利用者の好みや季節を考慮し職員が作成している。食材は近隣商店やスーパーで購入している。ソースカツ・弁当のテイクアウトや夏祭りでタコ焼・焼ソバ等を提供している。食事は彩り・盛り付けなどを工夫しプレートを使いながら、職員と一緒にランチを楽しんで頂く雰囲気づくりを心掛け、楽しい食事となるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量排泄など把握できるように利用者様の記録を記入している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者様に声かけしうがいや歯磨きの介助を行っている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様の状況を把握しながら時間でトイレ誘導などを行っている。	排泄記録や定時排泄から利用者の排泄パターンを把握し、羞恥心や自尊心を損ねない声掛け誘導を行い、自立排泄支援を実施している。また、利用者の表情や仕草等から声掛け誘導し、トイレでの排泄に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時に牛乳を提供したり水分を多めに摂ってもらうように支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	勤務体制の都合上日中帯での入浴になっている利用者様が希望する場合は出来るだけ応じていくようにしている。	入浴はローテーションで週2回を基本に、利用者の状態により3回の実施とシャワー浴を行っている。気分良く入浴できるよう入浴剤やユズ湯・菖蒲湯等で楽しんでいただいている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じて休んでもらったり夜間良眠できるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は事務所に保管管理を行っている。名前や日付けの印字も実施している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で役割などができるような支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出する行事を計画し参加を促している。	事業所の駐車場・敷地内、近隣の散歩を行い、ドライブを兼ねて近隣公園での花見や有名御殿公園見学などで気分転換を図れるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル防水の為、現金は持参しないようにご家族様にお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様から希望があった際には電話をかけて居室内にて話して頂いている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カレンダーや季節感のある壁紙を飾ったりしている	リビングと畳敷きスペースがあり、壁面には目で季節を感じていただく貼り絵を飾り、過度の飾り付けは控えている。共用空間は、職員が採光調整と温度・湿度管理を行いながら過ごせるよう配慮している。また、ベランダがあり、リビングにソファを置き、その日の気分により居場所が選べるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が会話しやすい席にしたりスタッフが間に入り交流できるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている	ご自宅で使用紙ていた物を持参するようにご家族様へお願いしたり入居後も希望している物を持参して頂いている	居室はエアコン・カーテン・換気扇が設置されている。利用者の持込みは自由としているが、レンタルベッドと整理タンスを配置した居室となっている。自作品や壁面に家族写真を飾っている。テレビはアンテナの関係で居室では見ることが出来ない状態となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっておりトイレなどに手すりを設置している		